



8日 二葉子ども園 運動会



8日 中野方子ども園運動会

あきたけなわ 2

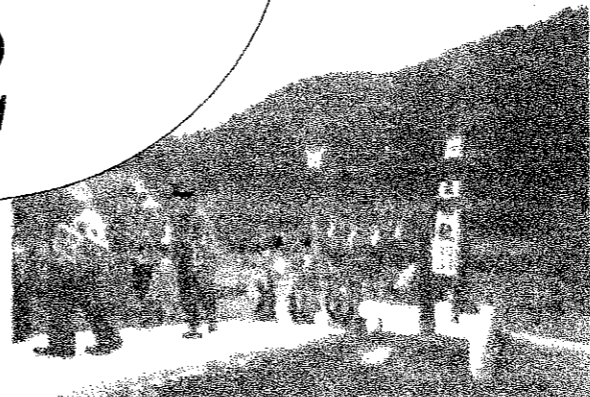
市長と語る まちづくり懇談会

恵那市ではこれまで市長と部長職が各町へ出かける「地域懇談会」が開かれていましたが、今年度から市長と企画部長が出席して「市長と語るまちづくり懇談会」を開催します。市長が「はたらく」「たべる」「くらす」の主要政策を説明し、各地域の住民の皆さんと意見交換するものです。（いずれも午後7時から）

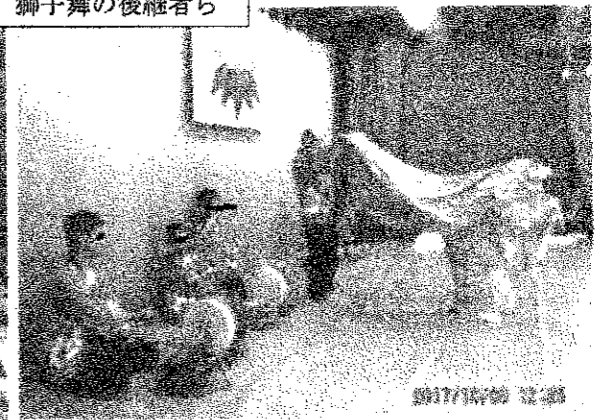
- | | | | |
|-----------|------|-----------|-----|
| 10月24日（火） | 山岡町 | 11月16日（木） | 長島町 |
| 10月31日（火） | 武並町 | 11月24日（金） | 串原 |
| 11月2日（木） | 飯地町 | 11月27日（月） | 岩村町 |
| 11月6日（月） | 笠置町 | 11月30日（木） | 三郷町 |
| 11月9日（木） | 中野方町 | 12月5日（火） | 大井町 |
| 11月14日（火） | 上矢作町 | 12月7日（木） | 明智町 |
| | | 12月15日（金） | 東野 |

恵那市議会 議会報告会 来年1月以降に延期

議会レポート
当初、10月17日武並、19日串原で開催予定であった恵那市議会議会報告会は、衆議院選挙の関係から、来年1月以降に延期されることになりました。



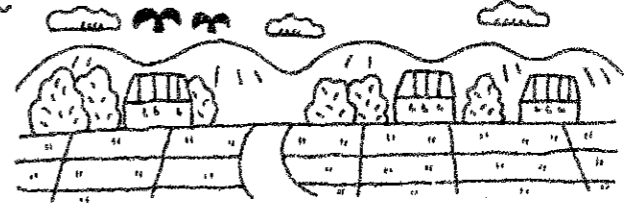
10月9日 長島町久須見 武並神社祭り 獅子舞の後継者ら



有害野生生物対策を抜本的に強める——増え続ける鳥獣被害は、農家の生産意欲を失わせ、集落の衰退に拍車をかけ、それが鳥獣害への対抗力も弱める、という悪循環をもたらしています。根本的には、農林業が成り立ち、農山村で元気に暮らせる条件整備が不可欠ですが、当面、該当する鳥獣の生態や繁殖条件の調査を国の責任で行い、増えすぎた鳥獣を適正な密度に減らす地域や自治体の取り組みを支援します。鳥獣が里山に下りずに生息できる森林環境を整備するとともに国の鳥獣被害対策交付金を大幅に増やし、防護柵・わなの設置、捕獲物の利用など農家や自治体の取り組みへの支援を強めます。
(日本共産党2014年総選挙各分野政策 農林漁業政策から抜粋)

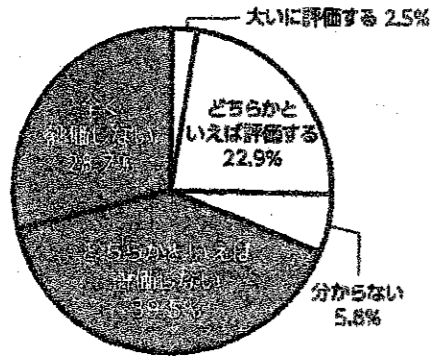
TPP 強行 米政策からの撤退 農協つぶし

ガマンも限界!



積年の思いを晴らそう

68% 安倍農政「評価せず」



日本農業新聞2017.9.28付14

日本農業新聞の調査に、農業者の68%が安倍政権の農政を「評価しない」と回答(上図)。国政を私物化し、憲法違反を繰り返す安倍政権を許さない——農業者の積年の思いを晴らすチャンスです。政敵ぬけだし、政策投げ捨てて議員バツジにしがみつくと動きを見て、「安倍政権と対決し、ブレずに共闘追求しているのは共産党」という声が広がっています。日本共産党は、安倍政権の退場、農政の転換のために全力を尽くします。

「もう共産党しかない」 安倍政権とブレずに対決

多数の農家切り捨て

安倍政権は、「競争力強化」を叫び、大規模化を推進して、多数の中小農家を切り捨てています。「外国産との競争に勝てない農家はつぶれてもいい」という農政です。農家と農村は一部の大規模経営だけでは守れません。担い手が急減する中、差別・淘汰は許されません。

とめどない輸入自由化

TPPに続いて、日欧EPAではそれを上回る自由化を受け入れた安倍政権。TPPの復活や日米FTAもねらうなど、大企業の利益拡大のために、農家を売り渡す政治をさらに進めようとしています。



農協つぶしごり押し

財界主導で農協に「改革」を押し付け、農業危機の責任を農協に転嫁するのは許せません。農協事業から信用・共済を分離するなど総合農協を解体し、企業参入の拡大を狙ったものです。これでは農業者や地域がバラバラにされ、農村の荒廃は必至です。

米交付金バツサリ

政府は来年から米生産調整の配分をやめ、米直接交付金の支払いを廃止します。米政策からの完全撤退です。米価暴落や乱商下に拍車をかけるのは必至です。農家が確実に見込める収入を政府がうばう施策で、大規模経営の打撃はより深刻です。

TPPの強行、米価暴落の野放し、農協つぶし、種子法の廃止——。農業つぶしの暴走を重ねる安倍政権。「こんな農政はもうやめさせたい」——皆さんの共通した思いではないでしょうか。

安倍農政もついでめん!!

農家の声に耳貸さず、財界の言うまま